



PRO-LIFE NEWS

(中絶に反対する運動)

〒780 高知市新本町一丁目七番三十一号

証明されて

いない治療

今日は、胎児の細胞と胎児の移植に関する興味深いお知らせがあります。この議論で私達が覚えておかなければならない事の一つは次の事です。胎児の組織の移植が糖尿病やパーキンソン病など様々な病気の治療に有効だと考える傾向の世間の注目があるにも関わらず、行われた移植についてのどんな調査もある定まった成功のパターンを示していません。

くりかえして言えば、胎児の組織を成人に移植する事によってその成人がよくなると言う事はまだ証明されていません。証明がない限りこれは理論的な希望です。

今日私があなたに話さなければならぬ事は、細胞連結と細胞培養についてです。私達の体のある細胞は試験管の中で成長させ、再生産させる事が出来、したがって更に皮膚細胞を形成できる、と言う事を誰も知るべきです。脾臓の細胞はインシュリンを生産します。研究者らは依然として、一人の糖尿病患者に移植するのに十分な膵臓の組織を得るために、35人の胎児の体が必要としています。私達は、いつかこの提案された処理方法が有効だと証明されるのに、どれほど多くの犠牲となる幼いからだが必要となるかと言う事にためらいを覚えます。

もし、研究者らがこの脾臓の細胞を培養し、実験室の培養器にそれ相当の量を備えておけるならば、それは確かによい事です。これらの細胞は永久に自己培養できるでしょう。そして医師は必要なきに必要量の細胞を採取できるでしょう。この方法は倫理的で、赤ん坊も殺される事なく、エイズのような病気の感染の危険もなく、中絶の議論を完全に避ければ、これらの細胞について継続する倫理的な源を提供するでしょう。

素晴らしい事ではありませんか。もちろん障害はありません。科学者らはまだこれらの細胞の再生産の方法を学んでいませんし、細胞の中には再生産するものが非常に困難なものもあります。しかし今や新しい進展があります。カリフォルニア大学の科学者らがパーキンソン病のネズミの脳に遺伝学的に変更した皮膚細胞を注入したところ、この主な調査によっていくらかの病気の回復がみられました。もし私達が組織の培養の際に皮膚細胞のようなよく成長する細胞を採取できるならば、遺伝学的な操作でその細胞を膵臓の細胞のようにインシュリンを生産する細胞に変化させる事によって、人間へ注入するこれらの細胞の限りない供給を受けられるでしょう。これはなんと素晴らしい事でしょう。もし患者自身の細胞を採取する事から始めて、それらの細胞を遺伝学的にインシュリンを生産するように変化させ、培養しそして戻し入れるならば、それはなんと、もっともっと素晴らしい事でしょう。インシュリンを生産する細胞が患者自身の細胞なので絶対に拒否反応はないでしょう。さて、上記の事はまだ空想に過ぎません。いずれにせよ、今日のお知らせは、胎児の細胞を移植する事は実際に有効だとは今のところまだ証明されていないと言う事です。しかし、細胞連結と細胞培養はいつか有効となるかも知れません。

もしこれが実現されたならば、全ての人を喜ばせ

る非常によい解決策になるでしょう。

ジョン・C・ウィルキー

医学博士

十代のセックスの結末
純潔であることから
る自由 【完結編】

(第五部)

1 友情を育むことの

自由

十代の若者の中には、中学・高校時代を楽しく過ごす人もいますが、かなり惨めな人もいます。多くは適当にやっているといったところでしょう。

孤独は、彼らが抱える最も重大な問題の一つです。これは人によつては耐え難いほどの苦しみをもちたらします。女性が性的関係に巻き込まれてしまふ最大の理由として、孤独からの脱却があげられます。単に人の温もりを求めて自らをゆだねてしまうのです。女性は男性に自らの性を与えます。そしてそ

の見返りとしてその男性に友達になつてもらふのです。これは互いの使い合

いであつて、結局、そのよ

うなことは二人にとって

健康的なものではなく、単なる利己的利用以外のな

にもでもないという互

いの不幸に気づくのです。

しかし、あなたが固い意

志を持つて、性的関係には

巻き込まれずにしようと

決心したならば、あなたは

お互いの興味や自尊心や

お互いに尊敬し合うこと

を基盤として、自由に友情

を育んでいくことができ

ます。どの学校にも、様々

な興味の持てるような活

動がありますし、実際、十

代の人たちのために地域

ぐるみのスポーツ活動や

その他多様な活動があり

ます。友達からの電話を

待つていただけでは友達

は作れません。自分から行

動を起こすことが大切で

2 他の人を

手助けできる自由

当の姿なのです。それは、永遠なる約束のしるしなのです。

性的関係に巻き込まれないように決心すると、他の人の手助けを一層自由にできるようになるでしょう。あなたは、性的な対象物として自分かどの

ように映っているのか気

をもむこともなければ、あ

なた自身も他者をそのよ

うな見方でみることもな

いのです。純潔とは、自己

中心的にならないための

精神的なエネルギーです。

だから、他者を性的対象と

して使おうなどと考えず

に、純潔であれば様々な方

面で人の役に立てるよう

になるでしょう。

3 性を理解する自由

性の行為には、一時の喜

びというよりも、もっと大

切な意味があります。それ

は、夫と妻が結婚して固く

誓い合った愛の象徴の本

この性への理解は、自己抑制のできる人たちには意味をなすものでしょう。しかし、あなたが結婚前に性交渉を持つとつとしてい

るなら、自制しなければなりません。そして、婚前交渉は本当に重要な事ではないと自分に言い聞かせなければなりません。

性行為を持つというこ

とが、結婚して固く誓い

合つた思いやりと愛の約

束の再生を意味する、とい

うことを理解するのは重

要なことです。ほとんどの

文化、宗教においても、結

婚している場合に限つて

のみ、性行為を持つことは

良いことである、とみなさ

れているのもそのような

理由によります。

このように、性の行為を

持つということは、結婚に

おいて偽りのない本當の

愛の表現なのです。それ

は、夫婦にとってこの上なく重要で美しいものなのです。

なさい。そして、あなたの確信に基づいて行動しなさい。

【まとめ】

手にすることはできません。しかし、純潔さは、あなたや他の人を学生時代のあらゆる悩みのもとから守ってくれます。そしてこれは、結婚の愛情とお互いの尊敬、信頼のための最も好ましい基盤なのです。

未来の夫へ

まだあなたがどんな人なのかはつきりしませんが、あなたの事をよく考えます。会った事のないあなたの事を、今どんなふうに過ごしているかと想いを巡らすのです。これはとても大切な事です。あなたが今どのような人生を歩んでいるかは、その後のあなた、つまり私が生涯を共にするあなたの在り方を決定するからです。なぜか、男らしさというものは男性に取って自然にやってくるものではなく、さうです。男性には、自分の男らしさを証明するために、スポーツに全力投球したり、あるいはスピードを出して車の運転をしたり、又残念な事に、セックスをして生涯を費やす人もいます。でも、私達女性から見ると、セックスが男らしさを

4 誘惑に抵抗する自由

若者の多くは、性的な誘惑を経験します。誘惑には、自分の内側からわき起こるものもありますし、テレビや映画あるいは他者によるものもあります。

5 将来を計画することの自由

誘惑に負けてしまうことに人格は関係ありません、しかし誘惑を退けるためには、純潔と呼ばれる力を持つ自己抑制が必要です。精神的なエネルギーによつて、私たちは自分が正しいと思うことをより自由にできるようにするのです。

最後に、誘惑を打ち負かすことのできる精神的なエネルギーを持ち合わせていると将来の計画を自由に立てることができるようになります。性的関係に巻き込まれない事によつて、あなたの将来を変えるような妊娠や病気の心配から解放されるでしょう。

同様に重要なことは、あなたのエネルギーを、人生で何をしたいのか、どういうふうに貢献したいのか、ということを決める基盤ともなり得る活動や勉強に注ぎ込むことができるということです。

- (a) 他の人を誘惑しない
 - (b) 良い友情関係を育むことができる
 - (c) 忍耐力と不屈の精神を養う
 - (d) 意図の純粹さを持つ
- 道理にかなった理由で正しいことをする。

同様に大切なのは、あなた自身の信念と確信です。もしあなたが、性行為を持つということが既婚者たちの献身的な愛の象徴であると本当に信じているならば、そのように主張し

純潔さを保つことはたやすいことではありません。人生において本当に価値のあるものは、簡単には

証明すると男性が信じている事自体、おかしいのです。私達に言わせると、単に思春期に達したと言う事しか意味しないからです。そして、その事自体、さして大した事のように思わないのです。男らしくなると言う事は、もっともつと複雑な過程を必要とするからです。

今日でも、男性はやはり自分の性を大切にするような女の人と結婚したいと思つています。将来自分の妻になる女性が、誰か他の男性と性関係を持つような事は考えたくもありません。男性というのは、性とは一人の男性に委ねるべき愛情であると認識しているような女性と結婚したいと思うものなのです。

又女性の方も、自分の男らしさを証明するために女性の処女を奪うような男性と結婚するでしょうか。そのような男性は、利

己的で、愛によってではなく、不安によって駆り立てられるような、未成熟な子供なのです。このような人には、私は興味がありません。

私はあなたにはそれ以上のものを求めているのです。あなたには、私が自分の性を大切にするのと同じようにあなたにもそうして欲しいのです。自分の不安からのがれるために女性を使わなければならぬ、本当の、自身に満ちた男性になつて欲しいのです。そして、本当に愛するということ事を学んで欲しいのです。愛を知るという事は、相手を大切にすることを学ぶという事です。私は、あなたに自制心を養つて欲しいのです、これは私にはとても重要な事です。

自制もできないような人と私は結婚したくないからです。信頼できる人、こういう男性と結婚を望む

のです。社会では、あまり処女性が尊重されていません。が、あなたに出会えたとき、私達の将来の家庭を思う愛から、そして私達の結婚へ全てを委ねようと言う気持ちから、私を待つてくれると言う意思表示のできるあなたであつて欲しいと思います。その間に、自制心や成長を獲得した、利己的でない本当の男性になつて欲しいのです。

社会ではあまり聞き慣れない事かも知れませんが、私には大切な事なのです。そうすれば、あなたもより素晴らしい夫、そしてより素晴らしい父親となるでしょう。

私は自らずっとセックスを禁じています。何度もある機会があり、ノーと言つた時には難しくもありました。きつとあなたにとつてもそうだと思いません。でもこの誘惑に打ち勝てば、きつと私達の結婚は

より強く結ばれる事になるでしょう。セックスは私達二人だけへの賜物となるのです。そう、二人だけのです。私を待つていてくれる事に感謝します。

国内ニユース 学校医に産婦人科医

教科書に性教育が登場し、十代の人工中絶や性病感染が増える中、和歌山県有田市教育委員会が今春から、産婦人科医を学校医に委嘱した。専門家の立場から、小、中学校の養護教諭にアドバイスをしてもらうと共に、将来的にはカウンセラーの役割や教材作りへの協力を予定している。文部省も「性教育に適切なアドバイスが受けられるのは大切な事」と評価している。

学校医の一人で市医師会副会長の成川守彦・産婦人科医は、全国的に十代の人工中絶や性病感染が増えている。感染者が急増しているエイズも、低年齢層に広がる恐れがある。正しい性教育の指導に協力したい」と話している。

抜粋

十代の中絶急増

法的な人格ない胎児、
誰が「権利」を守る

超音波診断の進歩などで、胎児の病気がかなり詳しく分かるようになり、赤ちゃんがお腹の中にいるうちに治す「胎児治療」がここ数年でかなり広がってきた。しかし、まだ実験的な医療である上、胎児は法的にも人と認められていないため、「どこまで治療が許されるのか」など問題点も多い。名取道也・慶応大講師は、今なら助かる道がある、と両親に説明しても（人工中絶が出来る）妊娠22週未満の場合は断られる事が多い。胎児の権利は誰が弁護するのか」と指摘している。

抜粋

「第六回生命のための歩こ

高知県は27日、これまで蓄積した県民の健康情報を初めてまとめた「健康白書」（平成3年度版）を発表した。本県は胎児、乳児の周産期死亡率の高さが課題となっているが、十代の人口妊娠中絶が、過去5年間で全国より50%多い割合で増え、人口1000人に対し4.1人（全国平均6.6人）に達している実態など、行政の他の分野に活用できる資料もある。

高知新聞 1992. 5. 27

抜粋

国際ニュース

【スペインで

生命のための行進】

マドリッドで開かれた

う会」に1500人が参加した。この歩こつ会のテーマは「生命のために、中絶反対。安楽死反対。」であった。このイベントは生命保護協会によって行われた。

【コロンビアにおけるプロ・ライフの進歩】

オスロで開かれた生命国際会議でコロンビア代表のアストリッド・デ・バヤール夫人は、コロンビアでもプロ・ライフ・ムーブメントがしっかりと根付いてきたと、その進歩の詳細を述べた。全国ライト・トゥ・ライフ・ムーブメントは14年間にわたって続いてきた。7つの主な都市に拠点を置き、このグループは現在ラテンアメリカの他の国々にもプロ・ライフ・メッセージを活発に広げている。又政治的活動、教育活動、そして奉仕活動を含め、プロ・ライフを広

く世の中に伝えていく。

コロンビアは国際人口管理機関からのアンチ・ライフ政策をとるようになってきた。中絶を合法化するために4つの試みが行われたが、プロ・ライフ・ムーブメント、特に宗教関係グループの監視のおかげで、全て失敗に終わった。国内にはかなりの数の非合法の中絶医療機関が存在していることが知られている。プロ・ライフ活動は、これらの存在に政府の目を向けさせ、いくつかの機関を最近閉鎖させた。

【アメリカ合衆国における安楽死議論】

アメリカのある病院で事故のため8年間植物状態にあつた患者が、鎮静剤を与えられた後、完全に意識を回復した。以前は飛行機のパイロットであつ

たこの男性は40代で、自動車事故で頭にひどい傷を負い、3ヶ月間昏睡状態から回復したが、8年間、ベッドに横たわるか、車イスに座っていて、時々いくつかの言葉をしゃべるが、自分では何もできないという絶望的な状態であつた。ある日、いつもの歯科治療を行うために「バリウム」という一般的な鎮静剤を彼に与えた。数分後、彼は起き上がり、病院のスタッフに話しかけ始めた。それから数時間後、彼はまたもとの状態に戻ったが、他の治療を受けることができた。現在医者は、彼を起き上げさせ、活動させる正しい投薬の分量を探っている。このケースは、現在アメリカで起こっている安楽死の議論に新たな要素を付け加えるものである。

ABORTION

QUESTIONS & ANSWERS

どういった事から中絶や出産調節の必要性が述べられたか。

出産調節や人口調節を求める声は、結局、今日の離婚率の高さや安易な中絶という乱れを導いている。中絶をしても良いとする人々は、レイプのような極端なケースに集中することによって彼らの運動を進めた。一旦、政府が生命への権利に妥協し始めたら、まさに中絶で中止するのはとても困難になってしまう。とくに、人命に関する裁判事件では一つの判定が次の前例になり、もう一人の人、またはもう一つの階級の人々から生きる権利を奪い取る足掛かりとなる。他方で、薬剤や科学の進歩は、すばらしい聖なる人間の生命

が受胎の瞬間に始まるという事実をますます否定し難いものになっている。

「体外受精」については多くの倫理的問題があるが、今日の医学は明らかに受精の時に生命が始まることを認めている。この医学的事実に基づき、法律を改正し、人は受精の瞬間から母親の子宮の中に存在し、それゆえ、法の下で平等な保護を受けるのが当然だと表明するべきである。

結果を

神の手にゆだねよ

生命保護運動へ関わろうとすれば、神への信仰と本物のやる気をもって活動する事が重要です。多くの拒絶もあるであろうし、人々は耳を傾けずに歩き去ったり、嫌悪の含まれた声明を出したり、罵詈雑言を言ったりするであろう。200人に話しかけてもたった一人にしか影響を与えない。それができないかもしれない。それも結局中絶で終わってしまう一人になるかもしれない。その時は非常に落胆するであろうし、それが普通である。又、中絶を考えている婦人にも実際に巡り合う事がないかもしれない。でも、この活動を通してお目にかかったことのない誰かを中絶から顔をそむけさせることができるかもしれない。神を信じ、すべての結果を神にゆだねなければ

ばならない。人々が真実を耳にし、それでもまだ中絶をすると我々は傷つく。しかし、その状況はまだ神の手中にあり、神はそれをその人を救うための最後の手段にするかもしれない。

天真爛漫な生命が失われていることを知るのは非常に悲しい事である。しかし、我々は個人的にすべての不幸をとめることはできない。イエス・キリストは全世界のために十字架にかけられたが、まだこの世の中には彼を信じない人もいる。あなたは真実を語ることにのみ責任があるのである。結果は神の手にゆだねなさい。我々が自ら赤ちゃんを救うのではなく、神の力が我々の存在を通して働いているのである。

ある女性に中絶をやめさせれば、彼女のすべての問題を自動的に解決できるわけではない。立ち向かって進み、解決しなければ

ばならない辛い状況や苦しい境遇が残る。彼女が必要としている援助を彼女が捜し出すのを助けるためにあなたには神の愛が必要である。マタイによる福音書28：18-20で、キリストは我々に大きな任務を与えた。生命保護運動はその任務を遂行するためその強力な道具になり得るのである。「どうか中絶を考えている女性を助けるための勇気を与えて下さい。」と祈ってください。そして外へ出て、人々に中絶に関する真実を語りなさい。口をきく機会もなく死んでいったすべての赤ちゃんのために真実を伝えなさい。我々の社会の将来のため、まだ生まれて来ぬものたちの自由のため、人々に真実を語りなさい。

日本プロ・ライフ・

ムーブメント

代表者

ノボトニ・ジェリー ONI

《事務所だより》

ススキの穂が風にゆれ、
深まりゆく秋！皆様には
お元気で過ごしてしま
うか。

二ヶ月毎に発行してお
りますプロ・ライフ・
ニュースも31号をお届け
することになり、読んで
いただきやすい親しみある
紙面にするために、又、出
来る限り、皆様の生の声
をお伝え出来るようにとス
タッフ一同、常に心にか
けております。優性保護法と
いう法律があるために、悲
しい事ですが、胎児の生命
をみおとしてしまう今の
私達の国、日本……。皆様
は一番力のない弱い胎児
の生命を大切に守り、育て
る事にどのような気持を
抱かれているでしょうか。
どうか、同封の原稿で皆様
の声をお聞かせ下さり、
「読者の声」の欄を育てて
下さいますようお願い

申し上げます。どんなに短
い文でも、匿名でも結構で
す。皆様の気持、考え、体
験……郵便受けを毎日見
に行ってお便りを楽しみ
にお待ち致しております。
長野県担当者、樽田国臣、
北海道の岸本美代子、名古
屋の戸野部真理子などに
続いて、7月末より東京で
は長渕治雄がこの運動の
ために努力して下さる事
になり、プロ・ライフに
とっては大きな喜びです。
10月6日から11日まで、宇
都宮で、第18回『正義と平
和全国会議』があり、分科
会では「生命」についても
とりあげられています。プ
ロ・ライフからも展示スタ
ンドを出して、PR致します。

プロ・ライフ・
ムーブメント